

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-3	自転車と共生するまちづくり事業	継続	平成13年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会		対象者	区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業				
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容	建設緑政局						
目的及び内容	地域住民、町内会、商店街、地元企業で構成する委員会による月2回の早朝呼びかけ、各種イベントでの自転車利用マナー向上への啓発活動に対して支援を行うとともに、自転車利用者や商店街利用者の立場を考慮し、地域の実態を踏まえた駐輪場増設等を行政に提案するなどして、地域や行政と協働して活動する。また、事業の実施にあたっては、より効果的に活動を行えるよう、啓発グッズのデザインや先進事例の研究について専門家に支援を依頼する。									
予算額	1,632,000 (円)	決算額	1,597,723 (円)	不用額※	34,277 (円)					
※不用の理由										
結果・成果	 <p>(呼びかけ運動)</p>		小杉駅周辺での早朝放置自転車防止呼びかけや、区内イベントでのマナー教室、パンフレット配布等の啓発活動とともに、近隣地域と啓発グッズを連携して製作、配布することで、地域住民、商店街と行政が協働して自転車問題の解決を図りながら自転車との共生を目指した。 設立から十年目を迎え、これまでの活動を総括する報告書を作成した。次年度以降に報告書を活用した取組みを行う。				実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)

地域住民・企業・行政が協働する自転車と共生するまちづくり委員会の自転車利用のマナー向上への取組により、主な活動地域である武蔵小杉駅周辺の通勤時間帯の放置自転車は減少するなど、自転車利用者のマナーアップ効果が現れてきている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	武蔵小杉駅周辺での活動実績を踏まえ、武蔵小杉駅以外の駅にも活動範囲を広げる。周辺地域とも協働して区全体で自転車と共生するまちづくりを口指し、自転車マナーの啓発活動に取り組む。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


小杉駅周辺は放置自転車が減っており、地道な取組の成果が出ているものと感じる。放置自転車が区全体の重要な課題であり、区内全域に浸透させる事業としてもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-4	区民交流センター運営事業	継続	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	中原区民交流センター なかはらっば（以下、「センター」という。）の管理・運営を区民と行政が協働で行うことで、中原区における市民の地域活動や地域コミュニティの拠点としての役割を促進させることを目的とする。 中原区内を拠点とする地域団体（町会・自治会等）や市民活動団体に対して、印刷機や会議スペースの貸し出しや、掲示板やホームページを利用した情報発信の支援を行うことにより、活動が活発に行われるようサポートをする。また、区役所5階に設置されている区民交流センター「なかはらっば」を、交流・憩いの場として各団体・一般区民に提供する。				
予算額	2,805,000 (円)	決算額	2,295,141 (円)	不用額※	509,859 (円)
※不用の理由	窓口協力団体が当初計画より少なかったため、窓口謝礼予算が不用となった。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		22年4月から、登録団体の協力による輪番制の窓口運営がスタート。16団体の協力の下、週3回（月・水・金）の窓口を開設している。利用者懇談会を6月と11月に実施。利用者同士の意見交換及び、センターへの要望、意見等を取りまとめることができた。大量印刷に適した印刷機の貸し出し、無料での会議スペースの提供、また、ホームページ「中原区民交流センター webなかはらっば」を運営。団体の情報、イベント情報を収集・発信することができた。 （なかはらっば登録団体：207団体）		
	(区民交流センター窓口)		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 22年度から区民交流センターの窓口が、区民（登録団体）のボランティアによる輪番制へと移行し、スムーズな運営が行われている。中原区における市民活動拠点が行政と区民団体が協働で事業展開できているという面で非常に大きな意義がある。また、センターは、区民が市民活動を推進する場、区民が気軽に集える場として、積極的に活用されているとともに、印刷機や会議スペースの利用について、区民団体にとって自前での確保が難しく、こうした環境を提供することは区内の地域活動・市民活動の活性化に大きく寄与していると言える。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	懇談会の開催など、随時区民の声を聴取し、会議室・フリースペースの備品の配置・レイアウト等を見直し、開放的で、よりニーズに応えられる施設としていく。現在週3回展開している団体による窓口協力を拡大でき、登録団体が積極的に関わられるよう意識向上を図る。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

「なかはらっば」を地域活動やコミュニティの拠点として、発信してもらいたい。場の認知度は、あまり高くはないと感じるので、認知度向上に向けて、広報を続けてもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-5	中原市民活動の集い開催事業	継続	平成17年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原市民活動の集い実行委員会		対象者	市民活動団体、区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()		関連事業局	事業内容			
目的及び内容	中原市民活動の集い（なかはらっば祭り）は、中原区役所5階の区民交流センター（なかはらっば）に登録している市民活動団体に普段の活動を発表する場を提供するとともに、来場者との交流や参加団体同士の交流を図ることを目的に開催する。						
予算額	581,000 (円)	決算額	580,496 (円)	不用額※	504 (円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		区民交流センター「なかはらっば」登録団体による実行委員会を立ち上げ、メインテーマを「なかはらっばに集まろう」として、多様な分野で活躍する参加団体の視点から集いの企画や広報（チラシ等）を作り、当日の運営まで成し遂げた。 集い前日には、参加団体同士がお互いの企画を紹介し合い、相互に交流をはかるとともに、当日は、多くの区民が来場し、企画に参加、体験することで、参加団体と来場者との交流も図ることができた。				
	(全体企画 寄せパネル)		実施時期 (開催日/回数等)	7月18日	参加 人数等	参加団体 37 来場者数 700名	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） なかはらっば祭りの開催により、普段市民活動に馴染みのない区民の方々に、気軽に市民活動に触れてもらう機会を創出し、参加団体と来場者との交流を図ることができた。 また、なかはらっば登録団体により実行委員会を組織して、なかはらっば祭りを作り上げて行く過程で、参加団体相互の交流や理解を深めることが出来た。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	なかはらっば祭りの開催を通じて、来場者と中原区の市民活動団体、及び参加団体相互の交流を引き続き図るとともに、区民交流センター「なかはらっば」の存在についてもアピールする。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


区民に日頃の市民活動の成果を発表できる場として、役立っている。参加団体関係者以外の来場者を増やしてもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-6	区役所サービス向上事業	継続	平成18年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民（来庁者）	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他（ ）	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区役所を訪れる来庁者に対して、より質の高い窓口サービスが提供できる区役所を目指し、庁内の関係部署からなる「中原区サービス向上委員会」を設置。各課ごとに年間取組目標を策定し、窓口サービス改善等を実施するとともに、各課から推薦された「推進リーダー」により職員研修の実施、窓口環境の検討・改善を進めることで、区役所のサービス向上を図る。				
予算額	2,924,000円	決算額	2,492,600円	不用額※	431,400円
※不用の理由	職員研修を安価に実施したこと及び案内看板設置を見送ったことによる				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		・サービス向上研修の実施 ・情報セキュリティ研修の実施 ・「外国人市民向けホームページサイト」の新設 ・外国人向けフロア案内（6カ国語）の改定 ・保健福祉サービス課の一部窓口のローカウンター化 ・記載台の配置変更及びホワイトボード案内版の設置 ・職場巡回による窓口環境改善提案		
	車椅子を利用されている方でも、座りながら申請や記入ができるようになりました。		実施時期 （開催日/回数等）	サービス向上研修 11月29日～12月15日 日のうち計9回	参加人数等 270名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 研修については、「推進リーダー」を中心に、区役所職員の日々の業務や各窓口での接客対応における顧客満足度向上を図るため、サービス向上研修を実施した。来年度以降も継続的なサービス向上が図れる研修内容の検討を行う。 窓口環境関係については、外国人区民に対しても公平なサービスの提供が図れるように「外国人市民向けホームページサイト」を新設するとともに、6カ国語でのフロア案内を改定した。また、各課の取組では、記載台の配置変更やホワイトボード案内版の設置及び保健福祉サービス課の一部窓口のローカウンター化など、サービス向上への取組を各課ごとに目標を策定し実施した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	「区役所サービス向上指針」に基づき、中原区役所サービス向上委員会を中心に、区役所サービスの向上に向けた、検討・取組を進める。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


区民の声を採り入れながら、今後もサービス向上に取り組んでもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
VII-7	中原区ホームページ事業	継続	平成14年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区の重要な広報手段の一つであるホームページを充実させ、区民などに最新の行政情報を提供し、ニーズに応えたページを作成することを目的とする。 また、情報を発信する情報所管課職員を中心に、広報に対する意識を向上させ、主体的な広報活動を推進するために研修を実施する。更に、専門的知識を要する新規コンテンツの作成や既存コンテンツの再検討などを専門業者に委託する。				
予算額	597,000 (円)	決算額	596,035 (円)	不用額※	965 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (中原区ホームページトップページ)		年間を通じて区ホームページの運用保守を委託するとともに、8月に区職員向けの広報力向上研修を実施し、23名の職員が出席した。		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年(研修は8月)	参加 人数等	研修は23名	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 平成21年度に実施したホームページのリニューアルを行い情報体系の整理を行った。その体系に基づき、各情報所管課において、コンテンツの充実が図られた。 また、市のコンテンツ管理システム(CMS)に対応するページとし、職員向けの研修を実施したことで、職員が容易にホームページへ情報を掲出できるようになった。 中原区は、引き続き大規模開発などにより人口の増加が見られ、新規住民や転入予定者を始め、広く区民に積極的な情報発信を行うことは必要不可欠であり、その点において有効な事業だと考えられる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	インターネット上で区の情報発信をする基盤は整ってきているので、引き続き職員の広報マインドを高めながら、区民が必要とする情報のニーズを把握しながら、発信する情報の質的向上を目指していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

区民のニーズに応えながら、充実させていってほしい。
